

# 確かな学校改善につながる学校評価を目指して

札幌市立手稲北小学校

## I はじめに

学校改善に結び付いた学校評価

1年を4期に分けて

より多様な視点から

確かな学校改善へ

### 1 本校における学校評価のねらい

本校の学校評価のねらいは、以下の三点である。

- (1) 学校教育目標の実現に向けた教育活動を組織的・計画的に振り返り、確かな学校改善を図る。
- (2) 教職員一人一人が英知を出し合い、学校運営に積極的に参画する学校を目指す。
- (3) 保護者や地域と『目指す学校像・子ども像』を共有し、ともによりよい教育活動を創造しようとする意識を高め、信頼される『開かれた学校』を目指す。

これらのねらいの達成に向け、本校の重点目標を設定し、1年を4期に分けて、期ごとのねらいを明確にし教育活動に取り組み、期の終わりにはその期における子どもの育ち（成果）と課題を学年研修・校務部会・職員会議で検討し、指導方針（改善策）を明確にして次期の指導にあたるサイクルを積み重ね、年度末の学校評価につなげている。また、教職員による評価に加え、保護者アンケート、児童アンケートなども取り入れながら、より多様な視点からの評価を実施している。今年度からは学校関係者評価も取り入れ、より確かな学校改善につながる学校評価を目指している。

### 2 昨年度の学校評価をもとにして改善点

本校においては、今年度、昨年度の学校評価を基に、主として以下の改善を行った。

- (1) 子どもたちの生活に根ざしたよりわかりやすい生活目標を設定する。
- (2) 学年・学級経営の充実の一環として、学年目標を全教室に掲示する。
- (3) 集団下校をより円滑に実施するために集団下校名簿のデータ化を行う。
- (4) 校区の養護学校との交流を充実させる。（2・4年生の2学年の交流を行う。）
- (5) 朝の活動の時間に『朝の読書』の時間を設定する。
- (6) 学校ホームページを充実させるために、毎月学校だよりをアップロードする。



養護学校との交流

## II 本校の学校評価システム

学校評価システム

教育課程編成委員会

自己評価の客観性

### 1 自己評価と評価委員会

本校では、学校評価については、教育課程編成委員会が担当し、重点目標を設定し評価内容や評価項目を検討している。教育課程編成委員会は、教頭、教務主任、校務分掌の部長、各学年の代表で構成されている。学校評価の年間計画は教務主任が中心となって作成し、この計画に基づき学校評価の取り組みを推進している。

本校では、より多様な視点から評価を行い、自己評価の客観性を高めるために、保護者・児童アンケートを実施し、教職員評価と併せ分析・検討を行っている。学校評価の結果は、学校だよりと学校教育説明会で公表している。（今年度はHPも追加。）

## 2 学校関係者評価委員会（外部評価）

### 自己評価の検証・助言

学校の自己評価の結果を基に、その自己評価が「適切に行われているか」、「学校改善に向けての取組が着実に実行されているか」を検証・助言していただくことを目的に、今年度より学校関係者評価委員会を設置した。構成メンバーは学校評議員3名である。今年度は6月に第1回委員会を行い、職務の内容や規約等の説明を行った。

### 子どもの育ちの把握

6月以降、学習参観での授業見学、学習発表会などの行事に来校いただき、子どもの育ちを把握していただいている。3月には、学校評価全体会で検討した本校の自己評価書及び改善策について検証・助言をいただき学校関係者評価書を作成する。

## Ⅲ 学校評価の年間の流れ

月	期	自己評価			学校関係者評価
		学校（教職員）	児童	保護者・地域	学校関係者評価委員会
4月	1期	<input type="checkbox"/> 新年度学校経営方針 <input type="checkbox"/> 各部・セクション年間計画 <input type="checkbox"/> 学年学級経営案作成 <input type="checkbox"/> 学力検査の実施（全国・本校）	<input type="checkbox"/> 1期「生活目標」  <input type="checkbox"/> 学力検査（全国・本校）	<input type="checkbox"/> 第1回学習参観懇談 <input type="checkbox"/> PTA総会 <input type="checkbox"/> 家庭訪問	
5月	基礎期	■ 教育課程編成委員会 ・評価計画、評価項目検討 <input type="checkbox"/> 運動会の成果・課題の検討	<input type="checkbox"/> 運動会に向けて（めあて・取り組み計画） <input type="checkbox"/> 運動会の反省 <input type="checkbox"/> 「生活目標」反省	<input type="checkbox"/> 第2回学習参観懇談 <input type="checkbox"/> 学校教育説明会 <input type="checkbox"/> 運動会参観	<input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員会 ・学校経営方針 ・重点目標 ・学校評価計画 <input type="checkbox"/> 運動会参観
<b>1期：基礎期の反省及び2期（躍動期）に向けての課題把握</b>					
6月・7月	2期	■ 教育課程編成委員会 ・学力検査分析及び改善策 ・1期の成果、課題検討 ・通知表の検討	<input type="checkbox"/> 2期「生活目標」  <input type="checkbox"/> 1学期の振り返り	<input type="checkbox"/> 土曜参観・地域公開日  <input type="checkbox"/> 第1回保護者面談 <input type="checkbox"/> 学力検査結果配付	<input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員会 ・地域公開日参加 ・1期の成果と課題について説明
8月・9月	躍動期	<input type="checkbox"/> 通知表作成 <input type="checkbox"/> 収穫祭 ■ 教育課程編成委員会 ・全国学力学習状況調査分析及び改善策 ・2期の成果と課題	<input type="checkbox"/> 収穫祭に向けて <input type="checkbox"/> 収穫祭の反省  <input type="checkbox"/> 「生活目標」の反省	<input type="checkbox"/> 第3回学習参観懇談 <input type="checkbox"/> 通知表配付	
<b>2期：躍動期の反省及び3期（充実期）に向けての課題把握</b>					
10月	3期	■ 教育課程編成委員会 ・保護者・児童アンケート検討	<input type="checkbox"/> 学習発表会に向けて（めあて・取り組み計画） <input type="checkbox"/> 3期「生活目標」 <input type="checkbox"/> 学習発表会の反省	<input type="checkbox"/> 全国学力学習状況調査本校の概要配付 <input type="checkbox"/> 学習発表会参観	<input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員会 ・全国学力学習状況調査 ・前期教育活動について <input type="checkbox"/> 学習発表会参観
11月	3期	<input type="checkbox"/> 学習発表会の成果・課題検討 <input type="checkbox"/> 生活・ちえのわ発表会の計画	<b>いじめアンケートの実施</b>		<input type="checkbox"/> 生活ちえのわ発表会 <input type="checkbox"/> 第4回学習参観懇談
12月	充実期	<input type="checkbox"/> 教職員による自己評価 <input type="checkbox"/> 各部・セクション ・反省及び改善策の検討 ■ 教育課程編成委員会 ・教員自己評価、児童アンケート ・保護者アンケートの分析・整理	児童アンケート  <input type="checkbox"/> 「生活目標」反省	保護者アンケート  <input type="checkbox"/> いじめアンケートの本校の概要配付 <input type="checkbox"/> 第2回保護者面談	
<b>3期：充実期の反省及び3期（充実期）に向けての課題把握</b>					
1月	4期	■ 教育課程編成委員会 ⇒ 自己評価書の検討 次年度に向けての改善策の検討	<input type="checkbox"/> 4期「生活目標」		

2月	飛躍期	<input type="checkbox"/> 学校評価全体会 ・自己評価書 ・次年度に向けての改善策 ・次年度の重点目標	<input type="checkbox"/> 卒業式に向けて	<input type="checkbox"/> 第4回学習参観懇談	<input type="checkbox"/> 学校関係者評価委員会 ・授業参観 ・学校関係者評価書検討 <input type="checkbox"/> 学校関係者評価書作成
		学校ホームページによる公表（自己評価書・学校関係者評価書）			
3月	飛躍期	<input checked="" type="checkbox"/> 教育課程編成委員会 ・学校関係者評価書作成 ・次年度の学校評価計画	<input type="checkbox"/> 卒業証書授与式 <input type="checkbox"/> 卒業式の反省 <input type="checkbox"/> 「生活目標」反省	<input type="checkbox"/> 卒業証書授与式 <input type="checkbox"/> 通知表配付 <input type="checkbox"/> 学校だより特別号 ・自己評価書、学校関係者評価書 ・次年度の改善策	<input type="checkbox"/> 学校関係者評価書提出
		<input type="checkbox"/> 次年度学校経営方針 <input type="checkbox"/> 各部・セクション ・新年度計画検討	4期：飛躍期の反省及び次年度に向けての課題把握		

#### IV 学校評価の方法

##### 1 自己評価

評価項目の重点化を図る



##### (1) 項目の設定

本校では、今年度「学校経営方針」、「前年度の学校評価」、「研究主題・重点」、「札幌市教育委員会の学校の教育の重点」などを基に、『子どもの学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する』という重点目標を設定した。そして、その重点目標の達成度を検証するために、下記の点に留意しながら評価項目を設定した

- ・具体的かつ明確なものとし教職員が意識的に取り組むことができるよう精選。
- ・網羅的になったり詳細かつ高度に専門的な内容になったりしない。

今年度の重点	分野	具体的な評価項目
子どもの学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する。	学習指導	児童の実態や本時のねらいを踏まえた、教材研究や授業準備。
		昨年度の研究・実践発表会の成果と課題を踏まえた、授業改善・研究の日常化。
		学力検査(本校)、全国学力学習状況調査の結果を基にした改善。
		問題解決的学習や体験的学習の充実。
		教師の役割分担が明確な合同授業、教師の専門性が生かされる交換授業の充実。
		個に応じた学習指導の充実。
		ITの効果的な活用。個別指導の充実。

##### (2) 児童・保護者アンケートの実施

教職員評価と関連させて評価項目を設定

本校では、学校評価をより確かなものにするために、12月に児童アンケートと保護者アンケートを実施し、その結果を自己評価に生かしている。今年度は児童・保護者アンケートを改訂し、教職員評価と関連させた評価項目を設定し、自己評価につなげることができるようにした。

#### 平成20年度 手稲北小学校の教育活動についてのお伺い

【A：十分 B：おおむね十分 C：やや不十分 D：不十分】

No.	項目	達成状況			
1	子どもたちは、意欲的に学習に取り組んでいますか。	A	B	C	D

2	子どもたちは、学習内容を理解し、その学年に応じた学習の基礎的・基本的事項を身に付けていますか。	A	B	C	D
3	子どもたちは、元気に挨拶し、落ち着いた学校生活を送っていますか。	A	B	C	D
4	子どもたちは、友達を大切にし、仲よく学校生活を送っていますか。	A	B	C	D
5	子どもたちは、行事や学級学年で行われる諸活動に意欲的に取り組んでいますか。	A	B	C	D
6	問題解決的な学習や体験的学習を充実させるなど、子どもの学習意欲を高める学習指導の工夫は適切ですか。	A	B	C	D
7	個別指導やTTの活用など、基礎的・基本的事項の定着・習熟を図る学習指導の工夫は適切ですか。	A	B	C	D

### 児童のみなさんへのアンケート

平成20年12月 手稲北小学校

このアンケートは、みなさんの学校生活の様子を知り、手稲北小学校をよりよくするためのものです。あなたの考えや思っていることをありのままに答えてください。

年 組 名 前 ( )

No.	質 問	○を付けて下さい			
学習について	1 あなたは、授業の内容がよくわかりますか？	A	B	C	D
	2 あなたは、学校で勉強したことをしっかりおぼえていますか？	A	B	C	D
	3 あなたは、授業中、先生や友だちの話をよく聞いたり、自分の考えを進んで発表したりしていますか？	A	B	C	D
	4 あなたは、授業中、わからないことがあったら、先生や友だちに聞いたり、自分で調べたりして、解決をめざしていますか？	A	B	C	D
	5 あなたは、得意だったり、自信があったり、大好きだったりする勉強はありますか？ また、それは何ですか？	A	B	C	D
	6 「ちえのわ」の活動にしっかり取り組むことができましたか？（「むぎわらぼうし」の活動もふくみます。）	A	B	C	D

教職員評価案計結果  
学力検査・各期反省  
各校務分掌の反省



教育課程編成委員会  
・達成度・改善策

### (3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成

教職員評価、保護者・児童アンケートの集計は教務主任が行い、その集計結果と学力検査（文科省、本校独自実施）、各期の反省、各校務分掌の反省などを踏まえ、教育課程編成委員会で重点目標に対する達成度と次年度に向けての改善策を検討し、自己評価書の原案を作成する。そして、その原案を学校評価全体会で討議し、今年度の本校の自己評価書を確定していく。

## 平成20年度 学校評価（重点目標にかかわって） 教職員個人用

1 本年度の重点目標 子どもの学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する

2 評価項目 【 A:十分 B:おおむね C:やや不十分 D:不十分 】

分野	評価項目	達成状況			
重点目標	<input type="checkbox"/> 重点目標は、学校や児童の実態から見て適切である。	A	B	C	D
	<input type="checkbox"/> 重点目標の具現化に向けた教育課程が適切に編成されている。	A	B	C	D
	<input type="checkbox"/> 重点目標の具現化への教職員の共通理解が図られている。	A	B	C	D
	<input type="checkbox"/> 子どもたちは、日々の学習や学級学年の活動、全校行事に意欲的に取り組んでいる。	A	B	C	D
	<input type="checkbox"/> 子どもたちに、その学年に応じた学習の基礎的・基本的事項が定着している。	A	B	C	D
【具体的な改善策】					

学習指導の充実	学習指導の工夫	<input type="checkbox"/> 問題解決的学習や体験的学習の充実を図っている。	A	B	C	D
		<input type="checkbox"/> 教師の役割分担が明確な合同授業や専門性が生かされる交換授業の充実を図っている。	A	B	C	D
		<input type="checkbox"/> 個別指導やグループ指導、子どもの興味関心に応じた課題学習、発展的な学習などの個に応じた学習指導の充実を図っている。	A	B	C	D
		<input type="checkbox"/> ITの活用など、基礎的・基本的事項の定着・習熟のための指導の充実を図っている。	A	B	C	D
		<input type="checkbox"/> 情報教育年間計画に基づき、コンピュータを積極的に活用した学習の充実を図っている。	A	B	C	D
		<input type="checkbox"/> 図書館及び図書資料の効果的な活用を図り、望ましい読書活動の充実を図っている。	A	B	C	D

## 2 学校関係者評価（外部評価）

### (1) 学校関係者評価委員の構成と役割



同窓会会長にご指導  
いただいている学校農  
園『むぎわらぼうし』  
の活動

学校関係者評価委員は、本校の子どもの様子を日常的にとらえ、教育活動に深くかかわってくださっている方を中心に構成することが重要と考え、今年度は学校評議員・同窓会会長に委員をお願いした。学校関係者評価委員の役割は、「学校の自己評価結果を基に、学校の自己評価が適切に行われているか、学校改善に向けての取り組みが行われているか。」について検証・助言することと押さえ、6月の第1回の学校関係者評価委員会を実施した。また、より確かな検証・助言をいただくために、学習参観日や学習発表会などの行事もご案内し、子どもの学習や活動の様子を見ていただいている。

### (2) 学校関係者評価書の作成

学校関係者委員会では、自己評価と改善策を記載した自己評価書を基にして、評価項目に従って説明をし、自己評価の妥当性や改善策について検証・助言していただく。そして、その検証・助言していただいたことを学校関係者評価書としてまとめ完成させていく。

## V 評価結果の公表

### 公表方法の多様化

理解の深まり  
課題意識の共有  
↓  
意識の高まり

### 1 公表の方法

本校では、評価結果の公表を以下の方法で行う。

- ・学校だより特別号
- ・学校ホームページ
- ・学校教育説明会

### 2 公表の効果

昨年度までは次年度の改善策・保護者アンケートの結果を公表してきた。今年度は、それに加え学校関係者評価書を上記の方法で公表する。公表により保護者・地域の方々の学校の現状や取組に対する理解が深まり、課題意識が共有され、ともに子どもを育てようとする意識がさらに高まることを期待したい。また、評価結果の公表は、本校の学校経営方針である『開かれた学校のもと、保護者や地域から信頼される学校』につながっていくものと考えている。

## VI 成果と課題

### 1 成果

- (1) 本校の現状に即した重点目標と具体的かつ明確な評価項目の設定により、取り組むべき課題が明確になり教育活動の推進、学習指導や学年学級経営の充実につながった。
- (2) PDCAのサイクルで、保護者・地域の方々とともに教育活動を改善していく学校評価・学校改善の取り組みが構築できた。
- (3) 自己評価書を学校関係者評価委員の方々に検証・助言をいただき、保護者・

地域に公表することにより、本校の教育活動についての保護者・地域の方々への理解が広まった。

## 2 課題

- (1) 前期の終わりに中間評価を実施し成果と課題・改善策を明確にし、後期の教育活動につなげることによりPDCAサイクルをさらに実効あるものにする。
- (2) 教職員評価について達成度の判断が曖昧にならないよう、それぞれの評価項目についての資料を整理し、より客観的に達成度が判断できるようにする。
- (3) 学校関係者評価委員に学期末によりの確な検証・助言をいただくために、年を通しての子どもたちの育ち・学校の現状をより理解していただくための手立てをとる。

【参考文献】 ・「学校評価ガイドライン」 文部科学省 ・「札幌市の学校評価」 札幌市教育委員会  
 ・「仙台版・学校評価ガイドラインと実践事例」 仙台市教育委員会

## 平成20年度 学校関係者評価書

### 1 重点目標 子どもの学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する

#### 2 本年度の経営方針

- 学習指導要領に基づき、特色ある教育課程を編成する。
- 基礎・基本を大切にし、学ぶ意欲を高める授業実践を推進する。
- 開校115周年記念教育実践発表会の成果と課題を踏まえ、授業改善、研究の日常化を図る。
- 学年学級経営の充実を図り、子どもたちの望ましい人間関係と豊かな学校生活を創造する。
- 地域・保護者との連携を図り、開かれた学校を創造する。

### 3 自己評価の結果に対する学校関係者評価 【 A:十分 B:おおむね C:やや不十分 D:不十分 】

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標について	<input type="checkbox"/> 重点目標は、学校や児童の実態から見て適切である。				
	<input type="checkbox"/> 重点目標の具現化に向けた教育課程が適切に編成されている。				
	<input type="checkbox"/> 重点目標の具現化への教職員の共通理解が図られている。				
	<input type="checkbox"/> 子どもたちは、日々の学習や学級・学年の活動・全校行事に意欲的に取り組んでいる。				
	<input type="checkbox"/> 子どもたちに、その学年に応じた学習の基礎的・基本的事項が定着している。				
<学校関係者による意見>					
学習	<input type="checkbox"/> 問題解決的学習や体験的学習の充実を図っている。				